

# 週間市場レポート (2023年2月6日～2月10日)

## 1) 先週の市場動向

| 指数名                            | 国                                                                                   | 前週末<br>2023/2/3 | 先週末<br>2023/2/10 | 前週末比<br>(%)                                                                                 |
|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日経平均株価 (円)                     |    | 27,509.46       | 27,670.98        | 0.59     |
| TOPIX (東証株価指数)                 |    | 1,970.26        | 1,986.96         | 0.85     |
| ダウ工業株30種平均 (ドル)                |    | 33,926.01       | 33,869.27        | ▲0.17    |
| S&P500種指数                      |    | 4,136.48        | 4,090.46         | ▲1.11    |
| ナスダック総合指数                      |    | 12,006.96       | 11,718.12        | ▲2.41    |
| ユーロ・ストックス50指数                  |    | 4,257.98        | 4,197.94         | ▲1.41    |
| S&P/ASX300指数                   |    | 7,525.59        | 7,395.88         | ▲1.72    |
| 上海総合指数                         |    | 3,263.41        | 3,260.67         | ▲0.08    |
| MSCI AC アジア (除く日本)※            |                                                                                     | 859.07          | 848.02           | ▲1.29    |
| 東証REIT指数                       |    | 1,830.78        | 1,823.84         | ▲0.38    |
| FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数 |    | 788.14          | 771.60           | ▲2.10    |
| ASX300 REIT 指数                 |    | 1,525.10        | 1,438.70         | ▲5.67    |
| グローバルREIT (除く日本)※              |                                                                                     | 188.81          | 184.32           | ▲2.38    |
| 日本10年国債 (%)                    |   | 0.496           | 0.502            | 0.006   |
| 米国10年国債 (%)                    |  | 3.525           | 3.732            | 0.207  |
| ドイツ10年国債 (%)                   |  | 2.193           | 2.364            | 0.171  |
| 英国10年国債 (%)                    |  | 3.055           | 3.396            | 0.341  |
| ドル/円                           |  | 131.19          | 131.36           | 0.13   |
| ユーロ/円                          |  | 141.62          | 140.39           | ▲0.87  |
| 英ポンド/円                         |  | 158.16          | 158.51           | 0.22   |
| 豪ドル/円                          |  | 90.83           | 90.91            | 0.09   |
| フィラデルフィア半導体指数                  |                                                                                     | 3,082.11        | 3,011.15         | ▲2.30  |
| WTI原油先物 (ドル)                   |                                                                                     | 73.39           | 79.72            | 8.63   |
| CRB指数                          |                                                                                     | 266.19          | 272.67           | 2.43   |

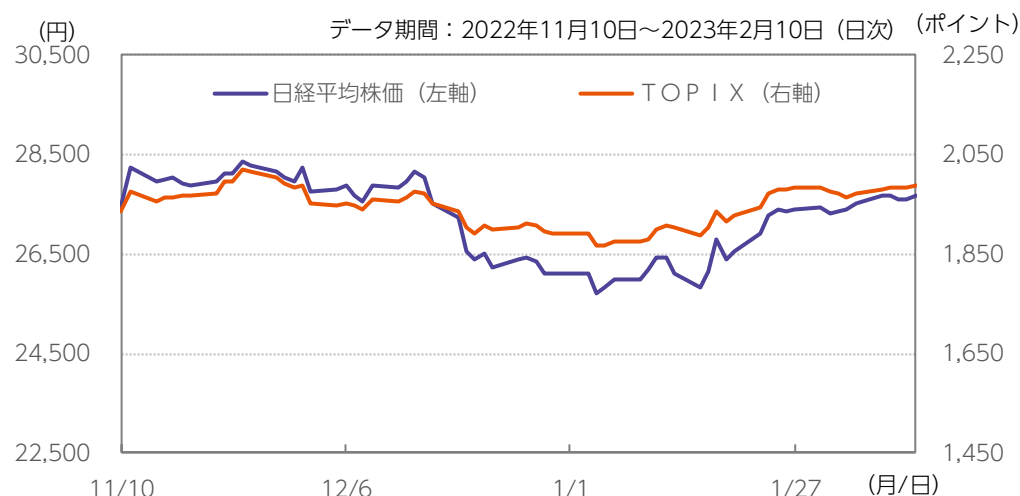
## 2) 日本の株式・債券市場

### ＜ 株式 ＞

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅に上昇しました。

政府が日銀の次期総裁に雨宮副総裁に就任を打診したとの一部報道を受け、外国為替市場で円安米ドル高が進んだことから、輸出関連株を中心に買われ上昇しました。その後、好決算などを材料に主要銘柄を中心とした利益確定売りに押され下落したものの、週末は、米連邦準備制度理事会（FRB）が早期に利上げを停止するとの観測が後退したことによる円安の進行を受け、自動車関連を中心に輸出企業の採算が上向くとの見方が一段と強まったことから、上昇しました。

なお、10日（金）の夕方に、政府が日銀次期総裁に植田和男元審議委員を起用する方針を固めたとの報道を受け、外国為替市場で一時大幅に円高米ドル安が進んだものの、引け後であったことから株式市場への影響はありませんでした。

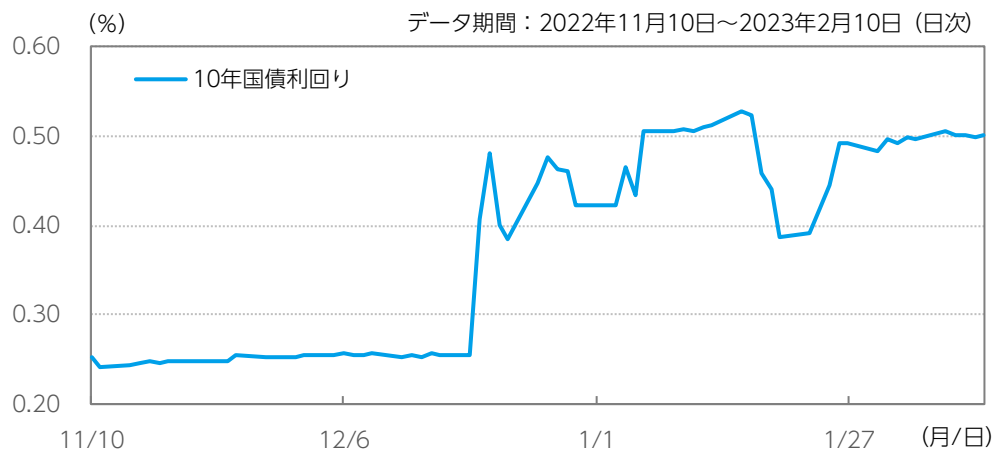


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

※現地通貨ベース \* ▲はマイナスを表します。

## ＜ 債券 ＞

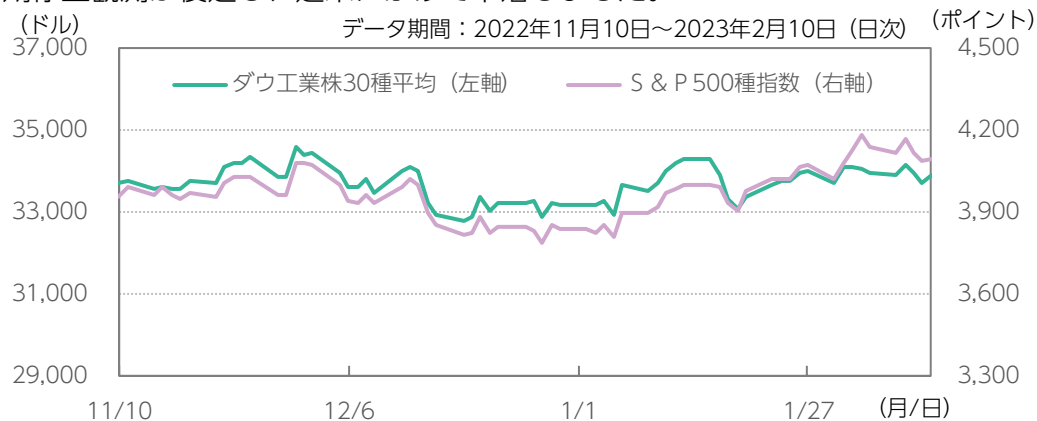
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。前週末に発表された1月の米雇用統計で米労働市場の底堅さが確認され、米長期金利が上昇したことや、日銀が新体制のもと大規模な金融緩和策を修正するとの思惑から上昇しました。一方、日銀は5年物の共通担保資金供給オペを実施することで長期金利の上昇を抑えていることから、週を通じて日銀が許容する長期金利の変動幅の上限である+0.5%近辺での推移となりました。



## 3) 米国の株式市場

### ＜ 株式 ＞

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で横ばいとなりました。前週末に発表された1月の雇用統計を受け、FRBが早期に利上げを停止するとの期待が後退したものの、パウエルFRB議長がワシントン経済クラブでのインタビューでインフレが鈍化するとの見通しを示すと上昇しました。しかしその後、FRB高官のタカ派的発言が相次いだことから、再び米利上げの早期停止観測が後退し、週末にかけて下落しました。

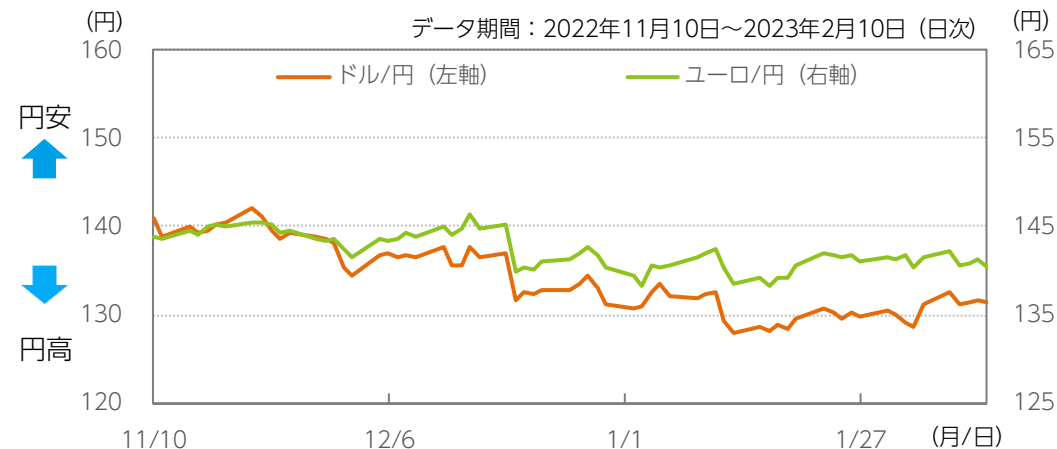


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

## 4) 外国為替市場

### マーケットレポート

米ドル/円相場は、前週末比で横ばいとなりました。米国の金融引き締めペースが鈍化するとの見方から円買い米ドル売りが進みました。FRB高官のタカ派的な発言を受け米ドル高が進む中、政府が日銀次期総裁に植田和男元審議委員を起用する方針を固めたとの報道を受け一時大幅に円高が進んだものの、同氏が金融緩和を継続する姿勢を示すと次第に上昇幅を縮めました。



## 5) 今週の見通しについて

FRB高官のタカ派的な発言が相次いだことから、米国が早期に利上げ停止するとの期待が後退しています。

FRBのウォラー理事は、8日（水）の講演で「インフレを当局の目標に戻すために、より長い闘いになる可能性がある」と発言し、金融引き締めの継続を支持する姿勢を示しました。早ければ3月にも利上げを停止するとの市場の期待ははく落し、株式市場は下落しました。

今週は14日（火）に1月の米消費者物価指数（CPI）が発表されます。前週末に発表された1月の米雇用統計が市場予想を上回る強い結果となり、FRB高官のタカ派的な発言が相次ぐなか、今後のFRBの金融政策の方向性を見極めるにあたり、市場の関心が高まっています。2022年6月をピークとした低下基調が今回も継続することとなれば、株式市場は上昇するものと思われます。当面は、米国の利上げ停止時期を睨みながら経済指標の結果に一喜一憂する相場展開となりそうです。

## 【当資料に関する留意点】

- ・ 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- ・ 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・ 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- ・ 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- ・ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- ・ 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- ・ 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- ・ 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>